

機械器具 39 医療用鉗子
一般医療機器 鉗子 JMDNコード: 10861001
Euro-Med 生検鉗子

【禁忌・禁止】
〈使用方法〉
本品の二次的加工を行わないこと。
[破損の原因となる]

次の使用まで汚染等に注意し清潔・乾燥が保てる場所に保管すること。

〈有効期間〉

滅菌して保管する場合、滅菌有効期限の管理をすること。

【保守・点検に係る事項】

**〈洗浄〉

1. 使用後直ちに洗浄し、洗浄時は手袋を着用すること。
2. 強酸性・強アルカリ性の洗剤等は使用しないこと。中性 pH(7.0)酵素系洗浄剤の使用を推奨する。
3. 中性洗剤に本品をしばらく浸す。(1分間程度)
4. 水没させた本品を歯ブラシのような柔らかいブラシを使用し、先端部の細かい部分の汚れを落とす。
5. 上記3.~4.を数回繰り返す。
6. 洗剤を残留させない様、流水にて十分洗い流すこと。
7. 本品を十分に乾燥させる。

※器具は個別に洗浄すること。超音波洗浄装置やウォッシャーディスインフェクタ等の装置でまとめて洗浄することは器具先端の接触による破損・変形の恐れがあるため行わないこと。
※金属タワシやクレンザーは、器具の表面を傷つけるので使用しないこと。

〈消毒、滅菌〉

1. 殺菌器の取り扱い説明に従って操作すること。

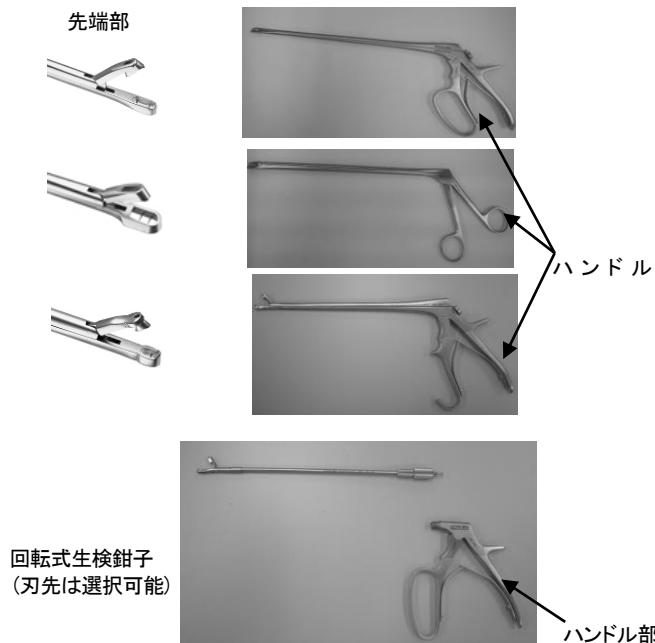
*2. 殻菌条件(推奨)

蒸気滅菌方法	温度	滅菌時間	乾燥時間
真空排気(Pre-vacuum)方式	134°C	3分	30分
真空排気(Pre-vacuum)方式	132°C	4分	30分
置換型(Gravity Displacement)方式	121°C	30分	30分

※消毒用液体(ホルムアルデヒド)やEOG、ステラッド(プラズマガス滅菌)で滅菌しないでください。

【形状・構造及び原理等】

本品は、ハンドル部を開閉することで遠位端の先端部が開閉し、組織を採取する。



【使用目的又は効果】

本品は、組織を採取するために用いる手術器具である。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1. 使用前に洗浄・滅菌済みであることを確認すること。本品の表面に損傷及び曲がり等異常の無いことを、確認すること。
2. ハンドル部分を開閉することで遠位端の先端部が開閉し、組織を探取する。
3. 使用後は、本品に異常が無いことを確認し、感染防止のため血液・体液・薬品等の付着物が乾燥しないうちに洗浄を行うこと。
4. 洗浄・滅菌後は適切に保管すること。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 本品をクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、またはその疑いのある患者に使用した場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)に関する国内規制及びガイドライン等を遵守すること。
2. 過剰な力を加える等無理な使用は避けること。

〈その他の注意〉

1. 防錆処理のための油引きがされている場合、洗浄等で除去し滅菌処理を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

【主要文献及び文献請求先】

株式会社フジメディカル

TEL: 03-3356-8377

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者:

株式会社 フジメディカル

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル

TEL: 03-3356-8377

外国製造業者:

クーパーサージカル社

CooperSurgical, Inc.

アメリカ合衆国

FUJI MEDICAL CORPORATION

株式会社フジメディカル